



2021年度 年主題〈共に喜んで～すべての歩みの中～〉

0・1・2歳児 2月主題 「いっしょにね」
月のねがい

- ◎保育者と一緒祈ろうとする(0)
- ◎友だちの存在を身近に感じ、関わり合う(0)
- ◎冬の自然に触れる(0)
- ◎自分から神さまに祈ろうとする。(1.2)
- ◎全身を動かしたり、手や指をしっかりと動かしながら遊ぶ(1.2)
- ◎相手の思いに気付きながら、つながりを深めていく(1.2)

3・4・5歳児 2月主題 「わかちあって」
月のねがい

- ◎家族や友だちのために自分から祈ろうとする(3)
- ◎気の合う友だちと誘い合って遊び、気持ちが通じ合うことの喜びを感じる(3)
- ◎わらべ歌や鬼ごっこなど、ルールのある遊びを楽しむ(3)
- ◎一人ひとりが神さまから頂いた良い物を頂いていることを認め合って過ごす(4.5)
- ◎嬉しかったことや、休んでいる友だちのことなど、自分の言葉で祈る(4.5)
- ◎遊びの中で、共に喜ぶ経験を重ね、共に明日を楽しみにする(4.5)

おゆうぎ会の思い出・・・

土曜日に計画しておりましたおゆうぎ会は、残念ながら延期ということになりました。本市の感染状況も少しずつ増えてきております。今後どのような形で実施できるかを検討していきたいと思っております。

おゆうぎ会といえば、もうかれこれ20年以上前、場面緘黙のおゆうぎを預かったときのことを思い出します。運動もおゆうぎも大好きなのに、人前に出ることはとても苦手で、何も表現できずにいました。そして、年長になった最後のおゆうぎ会。恒例の着物の踊りがあるのです。意欲に燃える年長の女の子たちが、「たくさん練習したい！外でもやりたい！」と保育者に提案。他の子供たちが遊ぶ園庭でのお稽古です。屋外の開放感からか、いつしか、その子も少しずつ手や足を動かすようになりました。そして本番当日。みんなと一緒にしっかりと踊ることができて、涙したことを思い出しました。

また、今年と同じように太鼓のおゆうぎをしたときのこと。途中でハチマキが緩んでしまい、半分目にかかりながらも、必死にいつもどおりのおゆうぎをしていた男の子がいました。本当に一生懸命なお姿に申し訳ない思いと後悔とで、今でも鮮明に覚えています。

今年も、いろいろなジャンルの曲に合わせてたくさんの表現を楽しんでいる子どもたちです。行事に向かうエネルギーは大変ですが、一つの目標に向かって、子どもたちと保育者がアイディアを出しながら作り上げるおゆうぎ会が本当に大好きです。本番にいろんなハプニングがあっても、子どもたちと取り組んだ過程は何事にも変えられない大切な時間です。おゆうぎ会が終わったら、おゆうぎ会ごっこを楽しみます。これもまた、大好きな時間で、子どもたちと共感できる楽しみの時です。

森山

今月の聖句 「注いでください。あなたの恵みをあなたを知る者に。あなたの義を心の直ぐな人たちに。」詩篇36:10

聖書には詩篇という書物があります。天地万物を造られた唯一なる神さまに向かって献げられた信仰者の祈りの言葉を集めたものです。その中で、祈る言葉としてよく出てくるものに「恵み」があります。「恵み」とは「憐れみ」であり、「慈しみ」でもあります。しかも、それは上から目線で「恵んであげる」といった類のものでもありません。それは一方的に神さまから注がれるものです。詩篇第23編6節では、神さまの恵みと慈しみが生涯に渡って、私の後を追いかけてくる、と告白されています。

今月2月の聖句である詩篇第36篇にも、「恵み」という言葉が出てきます。恵みなる神は光でもありと語られています。神は光。すべてを明るくし、温め、見えるようにする。それが、神の性質です。神は光なので、神の前に隠し事をすることはできません。同時に、それはすべてを見通し、暖かさを与えて、安心して生きることできるようになるのです。この光の神のみもとに身を寄せるなら、私たちはこそこそ何かに怯えて生きるのではなく、毎日安心して生きる事ができるのです。それは神の恵みであると言ひ換えることも出来るのです。

私たちは誰もが道を踏み外す弱さがあります。だから、祈りが必要です。間違えることがないように。もし、間違えてしまっても、立ち直るチャンスは何度でも与えてくださる恵みと光に満ちた神がおられる。だから、この神の思いに生きることができるよう、自らの間違いに気づくように、開き直ってしまうことがないように祈るのです。自分のために、そして、家族のために、友達のために、お互いのために祈る思いを持ちましょう。 協力牧師 池田基宣

2月の行事予定

3日(木)	2月誕生会
7日(月)	卒園写真撮影
10日(木)	冬の一日遠足 ※弁当日
14日(月)	試走
15日(火)	持久走大会
19日(土)	おゆうぎ会(予定)
21日(月)	持久走大会予備日
25日(金)	参観日(たんぼぼ・こすもす) 試食会(こすもす)
28日(月)	参観日(あじさいすみれ)

3月の行事予定

1日(火)	お別れ会・バイキング
3日(木)	3月誕生会
9日(水)	絵本の会ラスト公演
12日(土)	卒園式
18日(金)	修了式(1号午前保育)
30・31日	新学期準備のため休園

お年玉募金のご報告

先般実施しましたお年玉募金にて、21,931円が集まりました。貧困対策等に役立てられるよう日本国際飢餓対策機構に送金させていただきます。皆様のご協力に心から感謝致します。



答への出ない事態に耐える

暦の上ではもうすぐ立春。川沿いの河津桜も花を咲かせ始めました。まだまだ寒い朝が続きますが、昼間は温かい春の息吹も感じられる頃です。おゆうぎ会のお稽古の集中のあと、園庭ではその鬱憤を晴らすかのように、元気いっぱい駆け回っている子どもたちです。残念ながらおゆうぎ会は延期となりましたが、頑張ってきた子どもたちのためにもなんとか実施できるように知恵を出していきたいと思っております。

新型コロナウイルスも、ほぼ「オミクロン株」のフェーズに入りました。この状況がどうなっていくのか、いつまで続くのか、解決するすべが見えない現実。仕事や教育、社会のありようが問われています。人生の歩みはつらいつらいつの連続ですね。以前にも、子供たちに身につけて欲しいレジリエンス「立ち直る力」とネガティブ・ケイパビリティ「対処できない事態に耐える力」のことを少し書きました。ネガティブ・ケイパビリティ(negative capability)とは、直訳すれば「負の能力」。「どうにも答えない出ない、どうにも対処しようのない事態に耐える能力」をいいます。通常「能力」といえば、何かを処理して問題解決をする力です。その特長は、ネガティブ・ケイパビリティは、その裏返しとしての徳目に繋がることです。

まず共感(empathy)です。他者の感情や痛みを分かち合うこと。共感には度合いがあり、頂点は「相手を思いやる心」。「利他の心」といってもいいでしょう。この共感が成熟していく過程に、ネガティブ・ケイパビリティが常に寄り添っています。そして、寛容(tolerance)です。人を赦し、受け入れ、お互いがそれぞれの立場を尊重することです。この寛容を支えているのが、ネガティブ・ケイパビリティなのです。つまり、どうにも解決できない問題を、宙ぶらりんのまま、何とか耐え続けていく力が、寛容の火を絶やさず守っているのです。私たちの人生や社会は、そう簡単には解決できない問題に満ちあふれています。人が生きていくうえでは、解決できる問題よりも解決できない問題のほうが、はるかに多いのだと思います。そして、この概念を知ることにより、楽になる、生きやすくなるという効用があるようです。今すぐ自分で解決できなくとも、何とか持ちこたえていくというこ自体が一つの能力だと言われれば、誰でも心が軽くなりやすさね。苦難に直面するたびに、ふんばる力がつき、耐えていく持続力を生み出すはずなんです。どうしようもない状態を耐えぬいた先には必ず希望を失わない人生が待っていると思いませんか。『ネガティブ・ケイパビリティ 答への出ない事態に耐える力(帯木蓬生)』より。

次第に日差しや肌に触れる風が、心地よくなってきています。冬ごもりしていた土の中の虫たちが這い出てくる季節です。おゆうぎ会が終わると、全部の演目をみながら一緒に表現して楽しみます。小さい子どもたちが、他の表現の動きをよ活動で導くために、おゆうぎ会があると言っても過言ではないでしょう。残り少ない三学期を思う存分楽しんでいきます。

園長

自分達で考えたり、工夫したりしながら、遊びを充実させていく

この時期には、それぞれの子どもたちの遊びがこだわりを持ったものになり、様々な素材を使って子どもたちの遊びを創っていくようになります。そこで、この時期のねらいを「自分たちで考えたり工夫しながら、遊びを充実させていく」としています。

遊びが充実するとはどういうことでしょうか。それは、どの年齢の子どもも同じですが、「遊び混む・熱中する」ことでしょうか。ただし、この時期になると、子どもたちの思いも「より本物らしくしたい」など、「思い描いたものを実現させたい」というようになってきます。そして、自分だけの満足よりも、仲間と一緒に実現させたいという思いを持っています。ですから、先に述べた「共通のめあてを見いだす」ことを支えながら、友だちと一緒に思い描いたことを実現できるように支えていく援助が有効になります。遊び混むことは、考えたり工夫したりする経験が必然的に含まれます。思考力の基礎を育てることは、特別な活動をするのではなく、遊びが充実することの中に含まれているのだと思います。

松元信吾：編著 (広島大学附属幼稚園)

自分たちで考えたり工夫したりしながら、遊びを充実させていく

幼児教育において育てたい資質・能力は、それぞれ別々のことをしながらそれらを育てるものではなく、遊びの中で一体的に育てられていくんじやね

話し合い・目的の共有
↓
学びに向かう力・人間性等

おゆうぎ会にしよう
オッケー！
一箱に収めよう
なっ！

ここから何か図ろう！

ほんまじや土の色が違ふけん
こぶちのが固いんか

掘れんけん
棒でやってみるか？

いやそれより
カネの
でっかいやつ
使ったやつ
ええじゃろう

規則性の気付き
知識技能の基礎

試行錯誤、工夫、他の考えに触れ考え直す
→思考力判断力表現力等の基礎